世代間交流　令和4年8月6日
七夕飾りを作ったよ!!

令和4年8月6日（土）、吉野校区の帯迫老人クラブの皆さんに御協力いただき、児童クラブの子どもたちと七夕飾りを作りました。

ここ数年、コロナの感染拡大により、世代間交流も途絶えていただけに、久しぶりの交流で楽しい時間を過ごせました。

老人クラブの皆さんには、数週間前から日頃の活動に加え、七夕に使用する飾りを準備していただきました。

当日は、最高のお天気に恵まれ、暑い中での作業でしたが、みんなで協力して二竿に飾り付けました。

飾り付けの終わった竿は、第二児童クラブの入口に立てました。

昔は、家々で七夕の飾り付けをして、軒先に立てていたものですが、昨今ではなかなか！

天高く風になびく七夕に、コロナの早い収束を願う一日でした。

令和4年度吉野校区社会福祉協議会
定期総会書面決議にて開催!!

令和4年度吉野校区社会福祉協議会の総会を5月25日（水）、吉野福祉館にて開催予定でしたが、新型コロナ感染防止のため、書面決議書にて決議することといたしました。

福祉委員71名中、63名より書面決議書が提出されました。令和3年度活動報告、令和3年度収支決算報告、令和4年度活動計画(案)、令和4年度収支予算(案)、令和4年度役員改選(案)の全議案について過半数の承認をいただきました。

その結果をもって、6月10日（金）吉野校区社会福祉協議会役員会にて決議事項を承認といたしました。今年度も皆様どうぞよろしくお願いいたします。

＝令和4年度事業計画＝

- 5月　総会(書面決議)
- 6･7月　認知症講座開催
- 8月　七夕飾り(世代間交流)
- 9月　88歳の米寿祝(お祝の品を配付)
- 12月　赤い羽根街頭募金参加
- 12月　高齢者への(88歳以上)年賀状送付
- R5年1月　七草祝い(吉野小一年生へ)

※子育てサロン：毎月開催(吉野小校区公民館)
※役員会：随時開催しています！
※広報紙「笑顔」：年2回発行

〈令和４年度　新役員の紹介をいたします〉

会　長	川路喜照（中央町内会会長）	顧　問	常深　章（吉野小学校校長）
副会長	永吉正昭（民生委員・児童委員）		鈴木敏之（吉野中学校校長）
〃	中津詩穂（グループホームひばり）		迫田博幸（鹿児島養護学校校長）
			稲森勝敏（前会長）
高齢者福祉部部長	下鶴敏郎（民生委員・児童委員）		
〃 副部長	中野睦子（民生委員・児童委員）		
児童福祉部部長	宮竹道子（民生委員・主任児童委員）		
〃 副部長	奥山みえ子（校区あいごコーディネーター）		
障害者福祉部部長	野間栄一郎（民生委員・児童委員）	監　事	福森健一（帯迫町内会 会長）
〃 副部長	福吉清美（民生委員・児童委員）	〃	吉福浩介（野呂迫町内会 会長）
広報部部長	永山恵子（NPO 法人よしのねぎぼうず）		
事務局(広報部副部長兼務)	溝口由里子(校区女性部)		

※校区住民の社会福祉の増進と福祉のまちづくりの推進を目的として運営しています。

米寿祝いにプレゼント

今年も敬老の日に合わせて、88歳を迎える71名(在宅者のみ)の方たちに、民生委員さんを通してサーチライトをプレゼントしました。

赤い羽根共同募金活動始まる！

10月1日～「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。

皆様から寄せられた善意の募金は、地域福祉活動への助成や災害支援など多岐にわたって使われます。

吉野校区社会福祉協議会では、12月に生協コープかごしま吉野店で行われる募金活動に参加します。ぜひ御協力をお願いいたします。

～編集後記～

広報紙「笑顔No.32」を発行いたしました。御協力いただきました皆様本当にありがとうございました。

昨年度から企画しておりました「認知症講座・ステップアップ研修」を年度初めに、3回にわたり実施できたことが何より嬉しいことでした。多くの方にご参加いただき、関心の高さを感じることでした。これに止まらず、今後も重ねて企画して行きたいと思います。

今後も引き続き感染防止に努めて行きましょう。

（広報部）

※ この吉野校区社協だより「笑顔」は赤い羽根募金の助成を受けて発行しています。

吉野校区社会福祉協議会では、校区住民の幸せを求め、福祉の増進に関する調査・研究並びに関係団体との連絡調整、地域福祉活動の計画と実施、地域福祉に関する啓発・広報、共同運動募金の推進などまちづくりの推進を図ることを目的として、平成１８年５月に設立しました。

笑顔
NO.３２
みんなで住みよいまちに
令和４年１０月発行
鹿児島市吉野町２４７２
電話　８１３－７６３２
会長　川路喜照
制作担当　広報部

認知症支え合い講座開催

みんなでステップアップ研修!!

２０２５年、認知症を患う人の数は７００万人を超えると予想されています。これは６５歳以上の高齢者のうち５人に１人が認知症患者との計算になります。認知症は誰にでも起こりうること！私たち吉野校区社会福祉協議会では、「支え合うために、支えられるために」認知症についての勉強会を開催しました。

第1回目：「認知症について」

令和4年6月25日(土)グループホームひばり 中津詩穂氏

四大認知症のそれぞれの特長

アルツハイマー型認知症

脳全体に委縮が起こるため、全般的に脳の働きが低下してしまう。
◎緩やかに進行する
◎記憶の障害とともに、動作行動が出来なくなるなど、精神的混乱がある。
◎人格が変わってしまう。

脳血管性認知症

脳の細かい毛細血管が詰まることが原因。脳出血や脳梗塞など。
◎感情の抑制が利きにくくなり、喜怒哀楽が激しくなる。
◎運動障害として、麻痺や言語障害を伴うこともある。

レビー小体型認知症

脳にレビー小体という物質が蓄積し発症すると考えられている。
◎手足の震えなど、パーキンソン病の症状を併せ持つ。
◎具体性のある幻覚・幻視があり異常行動が現れることがある。（虫・ネズミ・子どもなど）

前頭側頭型認知症

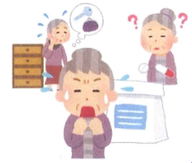
脳の一部（前頭葉や側頭葉部分）が委縮し、働きが低下する。
◎我慢したり、思いやりなどの社会性がなくなり、ルールなどが守れなくなる。
◎人格が変わったように「わが道を行く」行動をとったり、対人関係に支障をきたしてしまう。

普通のもの忘れと、認知症のもの忘れ

	普通のもの忘れ	認知症のもの忘れ
原因	加齢によるもの	病気によるもの
記憶	体験の一部を忘れる	体験自体を忘れる
想起障害	目立たない	想起障害あり
見当識	時間や場所の見当がつく	時間や場所などわからなくなる
進行性	極めて徐々にしか進行しない	進行性である
自覚	物忘れの自覚がある	もの忘れの自覚に乏しい
日常生活への支障	支援を必要としない	支援が必要
探し物	努力して見つけようとする	誰かがとったという
他の精神障害	伴わない	他の精神症状を伴うことが多い

希望と尊厳をもって
共に暮らし続けることができる
『共生社会』を目指しましょう。

認知症・・・老いに伴う病気の一つ
認知症とは、さまざまな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな生涯が起こり、生活するうえで支障が出ている状態の総称です。**認知**とは「わかる力」！その「わかる力」が低下し、当たり前の生活が困難になってしまいます。



第2回目：「認知症の方とのコミュニケーション」

令和4年7月9日(土) グループホームひばり 中津詩穂氏

視線を合わせてゆっくり話す

話の内容はシンプルに

伝えたいことは、出来るだけ言葉数をすくなくする。認知症の人は、矢継ぎ早に話しても、理解するのが大変なのです。少しずつゆっくり会話をすすめて行きましょう。

「言葉」だけでなく「感情」にはなしかける

認知症の人は、その障害により伝える言葉が見つからなかったり、皆さんの言葉を理解出来ないかもしれません。
「言葉」の中に答えを探すのではなく、言葉を発する元の「感情」を読みましょう。

非言語的コミュニケーションを使って心を伝える

認知症の人は病気で障害があっても、感情（心）は壊れていません。
優しいしぐさや、温かいまなざし、笑顔、手のぬくもりは認知症の人に伝わります。

第3回目：「地域で支えるために・・・」

令和4年7月23日(土) 地域包括支援センター吉野

認知症は特別な病気ではありません。誰にでも起こりうるものなのです。認知症を正しく知って貰うために、認知症に関して以下のような取組を行っています。

認知症を学ぶ
- ●認知症サポーター養成講座
- ●認知症あんしんセミナー

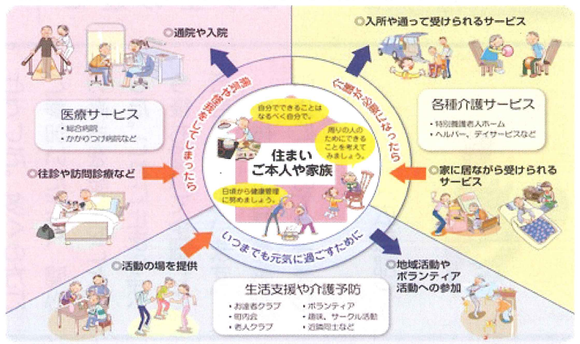
もしもに備える
- ●かごしま市認知症おかえりサポートシステム
- ●高齢者見守り支援事業
- ●認知症初期集中支援チーム

本人・家族を支える
- ●認知症等見守りメイト
- ●認知症介護の相談電話
- ●認知症介護教室
- ●認知症カフェ

住み慣れた地域が
住みやすい場所

地域包括ケアシステム 住み慣れた地域で、誰もが安心して、自分らしく暮らしていくことができるように、地域全体で支えていく仕組みです。

住まいから、おおよそ 30 分以内で対応できる範囲に様々なサービスがあること



鹿児島市長寿あんしん相談センターHP より

ご相談はこちらへ　長寿あんしん相談センター吉野　☎０９９-２９５-７３０１ 月～金８：３０～１９：００